

2022年10月吉日

小田原市長 守屋輝彦様

地方自治ウォッチャーズ〜県西オンブズマン〜

代表者 岡崎 克人

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、私たちは、「地方自治ウォッチャーズ〜県西オンブズマン〜」という住民団体です。

特定の政治的立場にとらわれず、「県西地区2市8町における首長・議員・および行政等の活動に関して、有権者の選択に資する各種の情報を提供することを主たる目的」(規約より)として設立した団体です。このたび、神奈川新聞で報道されたことも含め、新市立病院建設に関して選定委員会決定の2日前に竹中工務店を訪問したことで、小田原市民等の間でいろいろな疑問が持たれている状況です。そこで、市長におかれましても、9月議会も含め、説明責任を果たそうとなされておられますが、なお浮かぶ疑問があり、我々が市民や住民（以下、市民と記載）の疑問を代表した認識で公開質問状として出させていただきますこととなりました。お忙しい中、大変恐縮ではございますが、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

公開質問状

【質問内容】

質問 1 今まで市長の出張先を非公開とした理由を、さまざまな機会に明らかにされてきましたが、非公開理由がそのたびに変わってきていると思われます。令和3年12月13日の小谷議員の質問に対しては、総務部長が「公開することで相手方に不利益が生ずるからだ」と述べられています。令和4年の1月13日の「公文書一部公開決定通知書」では、「公にすることにより、率直な意見の交換が不当に損なわれるおそれがある」と書かれています。令和4年2月25日に書かれた弁明書が審査請求人に3月2日付で送られましたが、そこには、「公開することにより、今後の事業進捗に影響を及ぼすおそれがあるため」と記載されております。6月30日の「公文書一部公開決定通知書の変更について」では、「国のスーパ

ーシティ構想における事業提案の参考とするため、当該建築物及び開発事業者を視察したものであるが、国において提案内容の審査中であったため、公開できない状況であった。ところが内閣府での審査が一定程度進み、内閣府のホームページで提案内容が公開されたことから、情報を秘匿する必要がなくなったため、本件は公開した」と書かれています。以上、非公開(公開)理由が変わってきているのはなぜか、ご説明をお願いしたく存じます。なお、変わっていないと主張される場合であれば、我々に分かり易いようなご説明をなにとぞお願い申し上げます。

質問 2 令和3年10月18日の出張についてです。8月6日付の「タウンニュース」によりますと、「視察日程が10月18日となったのは、視察先の建築物が10月15日に完成後、建築主が使用する前に内部を視察する必要があったことから」だと記載されております。また、9月議会では「11月4日に国のヒアリングがあり、私自身がメインプレゼンターとして説明する必要があり、自分の目で建築物を確かめたかったからだ」と説明されています。しかし、訪問日の10月18日は新市立病院建設工事請負業者選定日（10月20日）の直前でした。「瓜田に履を納れず、李下に冠を正さず」と故事成語にありますように、市民に誤解されないよう、是非とも選定後に訪問して頂きたかったと思う次第です。上記の建築物は、東京都中央区銀座の「HULIC & New GINZA8」のことだと思われます。たしかに、竣工は10月15日ですが、一般的には竣工後、建築会社が行う自社検査、公的機関が行う完了検査、施主検査である竣工検査が行われ、「建築主が使用」するまでに時間があると思われます。竹中工務店に依頼した不動産デベロッパー「ヒューリック」が、竣工したことを発表したのは、11月12日でした。改めてになりますが、視察は10月21日以降では、なぜいけなかったのでしょうか。21日以降では不可で、市民や他の首長等にも誤解される可能性があり、また、市長としての資質が問われてしまうかもしれない10月18日を選定（優先）された思い・お考えなどを知りたく、なにとぞお教えお願い致します。

質問 3 出張先公開は6月30日付けでした。9月議会では「スーパーシティは、二次募集の可能性もあり、出張先を公開することで、他の自治体に本市の提案内容を知られないようにするために非公開とした」と述べられています。しかし、小田原市は、10月18日に提案内容を記者発表しており、その添付資料には「ゼロカーボン・デジタルタウンとする」と書かれています。竹中工務店は「ゼロカーボン建築」に取り組んでいる代表的な企業であり、「ゼロカーボン」の提案内容を記者発表した時点ですでに非公開とする理由はなくなっていると考えられますが、この疑問についてご説明を頂きたく存じます。また、9月議会でのデジタル化推進担当部長の答弁では、「国が公開したのは4月18日」だとし、「6月30日

まで公開が遅れたのは、竹中工務店に出張したことだけではなく、他の項目もお見せした方がいいのではないかと検討し、慎重に審査した結果、決定できたのが6月30日だった」としています。国の公開の後でなければならなかったとしても、2ヵ月も遅れる経緯が知りたく存じます。日頃、スピード感が大事だとおっしゃっていらっしゃることと比較して、今回は、2ヵ月の時間をかけたご都合やご事情などをなにとぞお教えお願い致します。

以上です。お読みいただき、ありがとうございました。

期限を設けるのはまことに僭越ではございますが、10月末日までに以下のメールアドレスまでご回答を頂戴いただけますよう、なにとぞお願い申し上げます。

なお、もしご回答をいただけなかった場合になりますが、公開質問状の主旨を踏まえ、その旨を公開させていただきたく、あらかじめご承知おきいただきたいと存じます。

【ご回答の送り先】

地方自治ウォッチャーズ～県西オンブズマン～ 代表者 岡崎 克人 宛
kasshii2@piano.ocn.ne.jp

デ第40号
令和4年10月31日

地方自治ウォッチャーズ～県西オンブズマン～
代表者 岡崎克人 様

小田原市長 守屋輝彦



公開質問状に対する回答について（回答）

仲秋の候、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。
令和4年10月14日付で頂いた公開質問状に関して、下記のとおり回答します。

回 答

【質問1に対する回答】

スーパーシティ構想には2次募集が予定されており、出張先を公開することで本市の提案内容が推察され、他自治体との競争において不利になる恐れがあったため、本市の提案内容に関しては詳細な情報を公開してきませんでした。しかしながら、その後、国が提出団体（31団体）の提案内容をHPに公開し、本市が非公開としておく必要がなくなったことから公開することといたしました。本市の提案内容に関する情報の公開につきましては、この考えに基づき、様々な場面で対応をさせていただいているところでございます。

【質問2に対する回答】

10月15日のスーパーシティ構想の再提案後に国のヒアリングを受けることが分かっており、出来るだけ早期に視察に行く必要がありました。そのような中で先方と市側のスケジュールを調整した結果、視察日程が決まったものです。

【質問3に対する回答】

本市が再提案したゼロカーボン・デジタルタウン創造事業におけるセールスポイントの一つが、エリア内に地元産材を活用した木造中高層建築物を建設するというものでしたので、この点は令和3年10月18日の記者発表資料に掲載しておりませんし、質問1で回答したとおり国の提案の公表まで情報として出してきませんでした。なお、一部公開決定の変更に月日を要した理由につきましては、他の項目も含め公開の可否について慎重に検討したためでございます。

小田原市 デジタルイノベーション課
大木健一

TEL 0465-33-1734

FAX 0465-33-1286

2022年11月吉日

報道各社さま

地方自治ウォッチャーズ～県西オンブズマン～
代表者 岡崎 克人

公開質問状への小田原市長からの回答について

私たちは、先日、小田原市長に公開質問状を提出した市民団体「地方自治ウォッチャーズ～県西オンブズマン～」です。

先月末、小田原市長より「回答」をいただきましたが、こちらの質問とは噛み合わない回答で、市議会での答弁の内容をほぼそのまま頂いたに過ぎず、大変残念な結果でした。これでは、きちんと説明できない状況ではないかと、市民として感じているところです。

ですので、報道各社さまにもその回答を読んで頂きたく同封いたしましたので、宜しくお願い致します。

問合せ先 柏木 修
電話 090-6569-9601
Eメール kasshii2@piano.ocn.ne.jp